

(付紙、應永三年三月廿二日)

(金山基國) 德元 在判

神保肥前入道殿

【得田文書】

六九三

得田勘解由左衛門入道本知行分事、任今月廿二日之御書之旨、可被打渡狀如件。

應永三年三月廿九日

(神保肥前入道) 沙彌 在判

神保太郎左衛門入道殿

【得田文書】

六九四

得田勘解由左衛門入道本知行分事、任今月廿二日御書之旨、可被打渡狀如件。

應永三年三月廿九日

(神保肥前入道) 沙彌 在判

野邊彌太郎殿

【得田文書】

六九五

高畠庄内小柴村一分地頭職惣領分事、任今月廿九日肥前入道狀之旨、渡申候也。仍渡之狀如件。

應永三年三月廿九日

(神保基久) 沙彌 在判

得田勘解由左衛門入道殿

【得田文書】

六九六

得田勘解由左衛門入道本知行分事、得田之内半分、同代田村内一分地頭、并土田庄内上村地頭職半分事、三月廿九日任御奉書旨、下地打渡申處也。依仰渡狀如件。

應永三年卯月四日

(朱書、野邊彌太郎) 小野□□ 在判

得田勘解由左衛門入道殿

【得田文書】

六九七

得田勘解由左衛門入道章光申、能登國得田保内壹分地頭

職、并白野田庄名田、高畠庄内小柴村壹分地頭職、土田庄内上村壹分地頭職之事、任去十一月九日御施行之旨、可打渡章光狀如件。

應永四年十一月十日

(神保太郎左衛門) 基久 在判

野邊勘解由入道殿

七月六日。足利義滿、鹿島郡永光寺に、同寺領羽咋郡若部保等を安堵せしむ。

【永光寺文書】 鹿島郡

六九八

能登國永光寺領同國若部保并散在分目録在別紙事、早任曆應御寄進狀以下證文、領掌不可有相違狀如件。

應永三年七月六日

入道准三宮前(足利義滿)太政大臣 在判

十一月五日。造宮所、加賀造宮大使をして、造外宮料所加賀郡萱野保に役夫工米の催促を停めしむ。

【八坂神社文書】 山城

六九九

造外宮料當國萱野保役夫工米事、先々免除之上者、早可被停止催促之由所被仰下也。案文如此。可令存知其旨給者、依造宮所仰、執達如件。

應永三年十一月五日

權禰宜 在判奉 常陸權介 在判奉

加賀國大使殿

應永四年 丁丑

紀元二〇五七

二月。僧快尊、珠洲郡高座宮別當高勝寺に、五部大乘經等を施入す。

【須須神社文書】 珠洲郡

七〇〇

高座山 高勝寺

奉施入條々目録事

一、五部大乘經一部

一、講堂内陳鈴佛具一面 皆具

一、護摩器一壇 表願壇系一筋 大器六、小器八、大杓二